

名の部落も近くにありますが。これらの地層は新第三紀中新世の中期から半ばにかけて、当時の海底に積もったもので、海底火山も盛んで多量の火山灰が海底の土砂と混じり、塊状灰白色軽石凝灰岩層や、凝灰岩質細粒砂層を作りました。

(4) キノコ岩のでき方

キノコ岩の広場でキノコの並び方や、傘の高さに何か規則性があるませんか。

広場から見てキノコの傘の高さは低いグループと高いグループの2つに分けられます。更に、キノコは一列に並んでいます。並んでいる方向は北の方向から東へ80°の方向に一列に行儀よく並んでいます。また、高いキノコ群と低いキノコ群の境は、それぞれのキノコの境の方向とも同じく、およそ東西方向で、方向性があります。

この2つの割れ目の方向は、郡山盆地構造ができる際の地かくの変動で、地層に加えられた圧力で地層に割れ目が出来たのです。特に大きな割れ目は断層と呼ばれ、地層は上下や左右にずれます。背の高いキノコ群と低いキノコ群は、断層による地層の上下のずれによって生じました。

一方、浄土松公園に積もっている凝灰岩はもともとやわらかく、風化されやすい性質がありますので、地層内にできた2つの方向の割れ目に沿って、風雨等による浸食・風化が進み、キノコが独立して立っているようになりました。

